

# そよかせたより

## 2008 1月号

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

去年の1月9日に開院してから、あつという間に1年が経ちました。お陰様で、この1年間で多くの患者様が来院して下さいました。心から感謝申し上げます。

当院では、患者様の症状やご希望に、できるだけ沿えるよう、1人1人に合ったオーダーメイド医療を目標として、日々の診療に励んでおります。

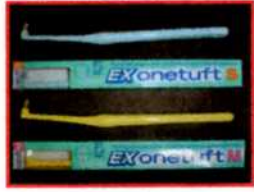
1人でも多くの患者様が、快適な日常をお過ごしになれるよう、これからもスタッフ一同努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



### 一言メモ

#### ワンタフト

ヘッドが小さく、丸みがあり、毛束のかたさも最適。  
普通の歯ブラシでは届きにくい、歯と歯の間や歯並びが前後しているところなど狭い所までしっかり届く。  
柄が細く長いので、仕上げ磨き用にも最適。  
毛の硬さは S・M。その他に毛先が細いシステムタイプもあり。



### 「むし歯」

みなさんが、小さい時から知っている言葉「むし歯」。なぜ「むし歯」というか知っていますか？

今から約4千年前、人は「むし歯は歯が口の中にある虫に食べられて穴があいてしまう」と信じていたからなんです。

もちろんそんな事はありません。「むし歯」とは、細菌が口の中で食べかすなどから酸を作りだしてしまい、その酸によって歯が溶かされた状態の事です。

次のような細菌・糖分・時間・歯質の4つの条件がそろった場合にむし歯になります。



まず、細菌とは口の中に存在する悪い菌を指します。口のの中の菌は一日に約一千億個も増殖すると言われております。むし歯菌はミュータンス菌とも言われます。このミュータンス菌は糖分(砂糖)と接触することによってネバネバした酸(乳酸)を発生します。このネバネバが再び、ミュータンス菌を吸い付けさせ下ドンドン増殖していきます。

つまり、悪循環が繰り返され、むし歯は進んでいきます。この悪循環の時間が長ければ長いほど「むし歯は発生しやすくなる訳です。あわせて、歯のカルシウムが少なかったり(歯質)、歯の表面の細かい凹凸があることで「むし歯」の発生は左右されます。

最近では、この中でも口の中の細菌の構成やこの細菌が作り出す酸やネバネバを測定することができ、むし歯のなりやすさが分かるようになってきました。次回は「この測定法について調べてみたい」と思います。



そよかせ歯科医院のホームページができました。URLは、<http://soyokaze-dc.com/>



### 今月の豆知識

#### おせち料理と意味

一年中まめに元気に働いて暮らせますように。  
子が沢山生まれ、代々栄えるように子孫繁栄を願うもの。  
「よろこぶ」の語呂合わせから、一家発展を願う縁起物。  
金団は黄金色。財宝を表し、豊かな生活が送れるよう。  
腰が曲がるまで、夫婦共に元気で長生き出来るように。  
紅白でおめでたい色から、平和を願うもの。  
見通しが良い意の「れんこん」、名前にうん(運)のつく「にんじん」や「ごんぼう」。そして福を取り込む意の鶏肉などが使われる。



### 院長より

明けましておめでとうございます。今年も、むし歯(う蝕)について締め上げていただきました。現在、子供のう蝕発生率はかなり低下していますが、中高年以上の年代の方の発生率は依然として高いといわれています。

流山市は特に、学童のう蝕発生率は全国的にも低い地域ともいわれています。この原因として学校での歯磨きやフッ素洗口に対する取り組みが良いことが挙げられます。さらに良い食生活にも起因されていると思

います。一方、多忙な世の中で中高年の方の歯周病とむし歯の罹患率は依然として高いと言われております。ただ単に歯が悪くなる年代とも考えられますが、この年代が学童の頃は最も高いう蝕発生率を示したとされており、その名残あるいは再治療が必要になったものとも考えられます。

このように、近年が学童のう蝕発生率は低下していますが、中高年の口腔環境は依然として悪いので、今後、中高年以上の方自身の口腔内状態の把握が必要となると思われ